

大型クラゲ出現情報 (平成25年9月20～30日)

9月末時点で、累計800個体以上出現

男鹿市の定置網を中心に、全県で大型クラゲの入網が確認されています。

本県で最初に確認されたのは男鹿半島の定置網で、沖を流れる対馬暖流主流の蛇行により、沖合から沿岸に運ばれたと推察しています。その後、沿岸沿いに北上してきたものも分布していると考えています。

大型クラゲの出現数は、大発生した平成21年ほどではないものの、昨年度より大幅に増大しました。出現数は累計800個体を超えており、その半数が男鹿の定置網に集中しています。

底びき網については、クラゲ対策用の改良漁具の導入に関する指導を行っていますので、希望する方は当センターまで連絡ください。

